

高田公園の桜を 100 年後に残そう 『桜プロジェクトJ』 活動の輪を広げよう！

上越市の大切な資産であり、貴重な観光資源である高田公園の桜！これからも 100 年後も元
気な桜を目指し、活動をもっと広げていきましょう！

＊ 平成 29 年度 第 4 回目の活動 終了しました。

9月16日（土） 9：00～10：35 参加者 24 名

『土壌改良』

図書館北側周辺の桜 8 本の土壌改良を行いました。各木の周囲 4 箇所を溝掘りし、落ち葉で作
った腐葉土を埋戻しました。続いて、三の丸広場周辺の桜の生育状況の観察も行いました。



＊ 平成 29 年度 第 5 回目の活動 終了しました。

10月14日（土） 9：00～10：45 参加者 22 名

『土壌改良』

前回に続いて、桜 3 本の土壌改良を行いました。掘削は根を傷つけないように掘り、埋戻しは
凸凹しないよう見栄えを意識しました。また、腐葉土の山の天地返しも行いました。腐熟が進ん
でいる山と未熟な山とがありましたが、より熟成が進むよう混ぜ合わせながら積みかえました。



『リュウノヒゲ刈込み』

桜の根を人の踏圧から守るために植栽したリュウノヒゲの繁茂が目立ってきたため、刈込鋏や草刈鎌を用いて刈込みを行いました。



✿ 平成 29 年度 第 6 回目の活動 終了しました。

11月7日(土) 9:00~10:00 参加者7名

『桜の樹勢回復のための手当紹介』

新潟県樹木医ネットワークから、忠霊塔前の桜2本(シダレザクラ、エドヒガン)等の樹勢回復のための手当内容について、紹介いただきました。続いて、手当の一つである水圧式土壤改良作業を体験しました。人の踏圧などによって固く締まった土の透水性や通気性改善のため、塩ビ管にホースをつなぎ、水圧(エンジンポンプ)によって根元の周囲に縦穴を掘っていきました。

なお、荒天のため、落ち葉を使った堆肥づくり作業は中止となりました。



平成 29 年度の予定していた屋外活動は、終了しました。次回、第 7 回の活動は、講習会を予定しています。詳細は、別途ご案内します。

落ち葉堆肥の腐熟度の違い？

第 5 回活動の際、腐熟が進んでいる山は腐葉「土」になっていて、未熟な山は落ち葉がそのまま残っているような状況でした。水分や酸素量、積み方などもありますが、どうやら発酵促進剤(EM ぼかし)を混ぜながら積んだものと、使っていないものとの違いではないかとのこと。来年以降の土壤改良へ向けて発酵が順調に進み、桜のためのいい腐葉土となりますように！



ひとくち
桜 Memo